

令和2年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	住宅課 住宅行政担当
------	------------

事務事業名	空き家等対策事業【除却支援等】		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政策	① 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	款	8	土木費	
	基本目標	2. 快適な暮らしづくり	項	8	住宅費	
	施策	2-1 快適な生活・都市基盤の整備	目	1	住宅管理費	
	基本方針	2-1-3 住宅・住環境の整備	事業	7	空き家等対策事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	老朽化した空き家の除却や避難路等に面した危険性の高いブロック塀の撤去を促すことで、地震時等の倒壊被害や緊急時の通行障害を防ぎ、地域の安全性や防災性を高めることを目的とする。	事業の内容	老朽危険空き家除却支援事業は不良度判定を行い、一定の基準を満たした場合に補助金を交付している。また、ブロック塀等安全対策事業においても一定以上の要件を満たした危険性の高いブロック塀に対し撤去費用の一部を交付している。
-------	--	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位	実績		目標		
	老朽危険空き家除却支援事業		R1	R2	R3	R4	
老朽危険空き家の除却について補助金を交付した件数	指標の説明	件	目標	9	7	10	10
			実績	9	7		
関連事業費			R1年度決算	R2年度決算	R3年度予算	市民一人あたりのコスト	
	財源内訳	事業費	7,514,000	5,697,000	8,660,000	R1	199
		国県支出金	5,633,000	4,271,000	6,490,000	R2	153
		地方債				各年度4月1日現在の人口	
		利用者負担・その他				R1	37,795
一般財源	1,881,000	1,426,000	2,170,000	R2	37,243		

■評価（CHECK）

事業の方向性	<input type="checkbox"/>	拡 充	<input type="checkbox"/>	縮小して継続	判定理由 老朽危険空き家除却支援事業については、倒壊による道路閉塞の未然防止を図り、ブロック塀等安全対策事業についても、倒壊による人的被害の未然防止を図ることで地震時等の避難誘導・救出救助が迅速かつ確に実施できる。このことにより、当該事業を継続的に取り組むことが必要である。
	<input type="checkbox"/>	改善・効率化し継続	<input type="checkbox"/>	休止・廃止	
	<input checked="" type="radio"/>	現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	完了	

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	当該事業は、国や県等の関係団体との連携は不可欠である。特に、老朽危険空き家除却支援事業は、今後大幅な県費の募集枠増加は難しいが少しでも多くの枠の確保に向け、一層の連携が求められている。そのため、相互協力の下、継続して事業の推進を図る必要がある。
今後の方向性	空き家等は、人口減少とも相まってますます増加するものと考えられることから、新たに空き家等が多数発生する恐れがある。空き家発生を抑制する取り組みを検討するほか、適切な管理が困難な空き家については、除却等の対策事業を継続して実施することが望ましい。